

ており、カードの普及とともに移植医療の正確な知識、正しい理解を市民に進めていく。

新エネルギー導入計画 (新政クラブ)

問 温室効果ガス排出削減に向けて、太陽光発電や、電気と熱を同時に発生させ、エネルギーを有効かつ多角的に利用するコージェネレーションといった新エネルギー導入は重要と考えるが、今後の導入予定は。



太陽光発電設備を設置したうつみ市民交流センター

答 公共施設への新エネルギーの導入に当たっては、地球温暖化対策や省エネルギーに対する市民

への啓発という観点から太陽光発電設備を設置してきた。(仮称)中央図書館、(仮称)西部市民センターにも太陽光発電設備を計画しており、費用と効果を見極める中で導入に努めていく。

要援護者への災害時支援 (市民連合)

問 寝たきり独居老人や障害者などは、災害時の情報が伝わりにくく、また、緊急時の避難についても困難が予想されるが、個人情報保護の観点を踏まえた要援護者の把握、情報伝達など、地域での支援体制の構築を。また、避難誘導などの手引書の具体的な内容は。

答 個人情報取り扱いについては、本人同意による直接収集を基本にし、地域の中で日常的なつながりのある人を支援者をお願いし、情報の伝達や避難場所への誘導を検討している。公民館の公共端末なども、災害時における地域との連携を図る手段として活用を検討する。

障害者自立支援法について (水曜会)

問 本年10月からの本格実施の前に、①一部負担の導入で負担が

大きくなるため、負担軽減制度の創設をする自治体もあると聞か、本市としての支援策は。②自立支援医療、地域生活支援事業など一割負担が何種類もあると聞か、その実態は。

答 ①負担に見合った障害福祉サービスの充実、それを補完する地域生活支援事業の充実を図り支援に努める。②自立支援医療については、重度心身障害者や精神障害者の医療費助成制度で負担の軽減を図っている。地域生活支援事業は、今後検討する中で負担の軽減に努める。

◆関連質問

- ・制度実施に向けての課題 (公明党)
- ・障害程度区分認定の進捗状況、障害者の就労対策 (明政会)
- ・施設と利用者の実態調査と軽減策 (日本共産党)

各種イベントのごみ減量 (明政会)

問 ばら祭2006では、ごみの減量やリサイクルに取り組み、延べ6000人のボランティアで4、4トンのごみを分別し、100%



ごみ分別ステーション(ばら祭2006会場)

のリサイクル率であった。福山方式としてマニュアル化して、市内の他のイベントに広げたり、全国に発信してはどうか。

答 本年度、新たに祭委員会に市民との協働による部会を設け、会場内11カ所の分別ステーションで、9種類の分別を行った。また、自分の箸やカップ持参運動、クリーンパトロール隊による放置ごみの収集や広報活動にも取り組んだ。今後もこの取り組みを継続して定着させ、他のイベントにも働きかけていきたい。

◆関連質問

- ・一般廃棄物処理基本計画について (市民連合)